



ボランティア活躍中

三学期には、ボランティアのみなさんに書き初めの練習や家庭科の裁縫の学習、さらに仕切り板やジャンピングボード等の製作に協力していただいております。

協力いただいた方々は、子供たち一人ひとりの様子に気を配り、基本をしっかり覚えられるように、わからないことを理解できるように、と優しくサポートしてくださっています。

また、全校で縄跳び運動に力を入れていることもあり、ジャンピングボードを使って、子供たちはより高度な技に楽しそうに挑戦しています。



第4回学校運営協議会 報告(2月1日)

令和6年度の「学校評価アンケート」の結果(※概要は2024年12月に保護者に文書配布済み)と、子供の言動、学力、人間関係などの状況について学校から説明を受けました。

説明からは、先生方が「誰一人取り残さない」という意識を大切にして授業や活動を進めておられることがわかりました。その後、以下のような質疑がありました。



Q	A
メディア利用では何が長いのか。	ゲームや動画視聴が多い。
ノーメディアデーのやり方が変更された。中学校との連携はあるのか。	子供個々の思いや生活時間を考慮し、ノーメディアに取り組む日を自己選択できるようにし、担任にカードを提出。中学生とは生活のリズムが異なるため、現在は特に連携はしていない。
在宅時、家に籠もって仲間と遊ばない傾向があるのではないか。	保健だより等で啓発。使用を厳しく制限している家庭もあるようだ。メディア使用は家庭が主となるため、スマホ等も含め放課後のことに学校は対応できない。
不登校者への対応は。	チームで意識や方法などを共有し対応している。登校を強いる指導を避け、嫌がられない程度の訪問、電話などを心がけている。
フリースクールとは何か。	学校に登校できない子が通うことのできる民間の居場所。学校と情報交換をしている。連日通う子もいる。

家で学校のことを話しているか。	話していない子もいる。生活の多様化もあり、学校での学習や生活にまで関心を向けられない保護者もいるように感じる。
全国的に病休教員が多いが、教職員の健康状況は。	職員の雰囲気は明るく、相談し合えていると思う。体調不良者はいない。
出席した委員からは、次のような意見があった。 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの利用は基本的に家庭が責任を負うべきであり、各家庭にきちんとした対応を委ねることを求めることが大切。学校は、指導はしても抱えこむ必要はない。 ・帽子等の選定、使用については、それぞれの子供への配慮も求められる時代ではある。 	

中太っ子の学力向上に向けて

運営協議会で「中太小の学力」について委員から質問があり、学校からは「全国学力学習状況調査」の結果からは全国や県の平均よりも高い、と説明がありました。

「調査報告」では、家庭や地域の安定、生活状況の高さなど基盤が整っていること、人間関係が良いことなどにより、安心して学べることで学力に良い影響を与える、とされています。

「子育て三輪車 第1号」にも記しましたが、中太小校区は比較的安定した家庭が多く、落ち着いた子供も多いことがプラスに働いているのかもしれませんが。

学ぶ時には(基本的に)「言葉」をやり取りしながら知識や技能などを身に付けます。聞く、話す、読む、書くなど「言葉や文章」を正しく理解し活用することで、学力は高まっていきます。

赤ちゃんの成長と同じですね。

授業は集団で学ぶことが基本。いわば集団(チーム)戦です。

授業をサッカーに例えてみると、みんなでボール(言葉に載せた知識や技能)をパスやドリブル(話し合いやひとり学習等)を駆使し連携してゴール(身に付けるべき知識や技能、より高い学力・体力)まで運ぶイメージでしょうか。

当然ながら、全員がゲームに集中してプレイするチームは強くなります。そのために監督やコーチ(先生や支援員)は作戦や練習方法を考え、時には叱咤激励しながらチームを導きます。

また、ゲームには審判(先生、子供同士)が必要です。ルールやマナーを大事にしてゲームを整え、荒い言動や秩序を乱す行為などにはイエロー(警告)やレッド(退場)のカードを示します。

現在は比較的安定している中太小ですが、授業の様子を見て回ると、決して安閑とはしてられない状況だとも感じます。

学ぶ雰囲気が低下し、学級が荒れると立て直しに何ヶ月も何年もかかることは、保護者の皆さんもよくご存じと思います。

保護者の皆様には、授業や学級の状況に関心をもち、お子様の話に耳を傾けていただき、望ましい生活のしかたや言動についてご助言いただけるとよいのではないのでしょうか。

送り出す際には、子供たちの学力向上につながる良い学校・学級づくりのために、「みんなで協力し合って勉強するのだよ」という言葉掛けを、運営協議会としてもお願いしたいと思えます。

このたよりでは、学校ボランティアや運営協議会の動きなどに加え、子育てや教育に関する話題、状況などもお伝えしてまいります。ご意見をお待ちしております。

連絡先メールアドレス cd13@imizu.ed.jp (中太小コミュニティスクール)